

分か持める時代

第三二八号〇五年一月一日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 六三一三八八二

ふれあいサロンに
参加して

▼ピーチボーグバレー大会
十六日

町内会連合会
会長 西本
一一一

第八回市民夕リケントバートゴルフ大会が十一月二八日(日)三原運動公園内三原市陸上競技場で開催されました。

ターゲットバードゴルフは生涯スポーツ種目として、ゴルフのクラブを使用して約三〇㍍五〇㍍先のホールをめざして、羽根付きボールを打つて行う競技です。

市内より二八チーム八四人の参加がありました。深町からも三チーム(深町A・深町B・深町C)九人が参加しました。

深町はチーム部門では二年連続優勝、個人部門では初優勝・三位入賞と大健闘の一日でした。



バーナード大会

二〇〇五年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、お健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

町民の皆様の暖かいご理解、ご協力によつて平成十六年度連合会運営事業も無事消化出来ましたことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

さて、新春を迎える深町を明るく住み良い町作りのために前進して行かなければなりません。中でも地域社会活動に参加して下さる方々はそれを生き甲斐とし、日々健康の増進に努め、精進されていることをひしひしと感じます。

しかし近年、少子化、高齢化が進む中、深町に大きな課題もあります。社会の変化に伴い、農業の衰退が年々増え続ける様子が目に止まるようになります。反面世帯、人口は増加し、

明るいニュースもあります。又、車両の交通量が増加し、住民の危険性が高まっている今日、交通事故から守るために昨年、県道三原尾道線で、深町の区域内において危険箇所を取り上げ、大池北側に歩道が無いため、通学路確保に小学校とタイアップして県へ改良を要求し、仮設のポール、パイプ式ガードレールを設置して頂くことが出来ました。

新年度も中組干川講の一部歩道の整備と大池バス停付近のカーブ改良を、引き続き県に要請し、早期実現を求め住民が安心して通学通行出来るよう努め致しますので、町民の皆様のご協力とご理解をお願い致しますと共に、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶と致します。
▲▲

町内会連合会活動報告

尚寿会だより



学路確保に小学校とタイアップして県へ改良を要求し、仮設のポール、パイプ式ガードレールを設置して頂くことが出来ました。

新年度も中組干川講の一部歩道の整備と大池バス停付近のカーブ改良を、引き続き県に要請し、早期実現を求め住民が安心して通学通行出来るよう努めていますので、町民の皆様のご協力とご理解をお願い致しますと共に、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶と致します。

ぼくたちは、地域の高齢者と交流するためには「はなみずきの会」の人の協力で、ふれあいサロンに参加させていただきました。はなみずきの会の人たちは、ぼくたちが上組の公民館に着くと、快くむかえてくださいました。なんだか、早く仲良くなれそうだと思いながら元気よくあつさつをしていきました。

自己紹介の後、高齢者の方から子どもの時の思い出を話していただきました。昔は、学校から帰ると家の手伝いをしなければいけなかつたそうです。かめに水をくんだり、ご飯をたいたりしていたそうです。四年生のころはもう、「ご飯のしたくができたといわれたのを聞いて、「ぼくは、親にしてもらつているし、あまり手伝いもしていないので見習わないといけないな」と思いました。

昔の話を聞かせでもらったあと、輪投げをしました。ペアを組んで、二人の得点を合計します。見たときは簡単そうでした。が、やつてみると案外難しかったです。でも、ペアの方から「いつしょに頑張ろうね。」と声をかけてもらつたり、周りの人に声援をもらつたりと、とても楽しき盛り上りました。

◆ 尚寿会
▼ 町内会連合会
▼ 新年会 二十日

◆ 消防団
▼ 出初式 初競技練習・新年会一日
出初式 九日

◆ 小学校・幼稚園
▼ 第三学期始業式 七日

◆ 貯金日・保健指導④
▼ 体位測定④ 十三日

◆ 英語活動
▼ 参観日④ 十四日

◆ 新春ふれあい広場前日準備
▼ 冬季学園説明会 二二日

◆ 新春ふれあい広場
▼ 振替休業 二三日

◆ テーマタイム
▼ 女性会 上 十八日

◆ 親睦会 上 二二日

◆ 如水館 五日

▼ 中学入試 (普通科) 十八日

▼ 高校入試 (総合選択) 二八日

◆ 展望席
初詣。平素信心の薄い私でも、
元旦には初詣をして、神仏を敬
い、無病息災を祈願したりしま
す。ところで、敬われな
い神様もいます。言うま
でもなく「貧乏神」です。
貧乏神がとり憑くと、貧
乏をもたらし、金銀に貪
欲になつたり、万事思う
ようにならなくなつたり、思
いがけない災難が起きたりする。
長野県のある町には「貧乏
神社」があるらしい。この神社
では、ご本尊の前に立つている
太い丸太を「貧乏飛んで行け！」
と大声で叫びながら「貧棒」と
名づけた棒で思いつきり三回ぶ
ち叩き、三回蹴飛ばし、マメを
三発投げつけて、貧乏神を散々
な目に遭わす。「これくらいしな
いと、人の弱い心に住み付くの
が貧乏神」だという。

近頃は、声はすれども姿が見
えぬ「フリコメサギ」等に姿を
変えた貧乏神が何処からともな
く、突然飛んできます。人の心
の隙を突いて貧乏神がやつてき
ます。油断できません。

しかし、金銭的に豊かになり
過ぎると、とかく、横柄、傲慢
になつたり、美食に馴れて何を
食べても感動が無くなつたりす
る事もあるようです。逆に貧乏
格を鎮めると反対に福に転じる
という。この貧乏神神社も、町
おこしに役立つているらしい。
貧乏も結構有難いものととら
え、元旦から心を引き締め、今
年も元気で心豊かに楽しく過ご
しましよう。

